



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733



「この命、頂いてよかった」と
 生まれ甲斐発見の人生でありたい

五濁悪時悪世界

濁悪邪見の衆生には
 弥陀の名号あたへてぞ
 恒婆の諸仏すすめたる



終わりそうで終わらない米国とイラ
 ンとの戦争。ホルムズ海峡が閉鎖され
 ているために、中東の石油や天然ガス
 が輸入されず、ナフサの供給が制限さ
 れているために、製品が作られず、物
 価高が続く…。

我々はこんな悩ましい世界に生きな
 ければなりません。つくづく、五濁悪
 世だと思われます。

お釈迦さまは「仏説阿彌陀經」の中で、
 五濁の世界を説かれ、お念仏の救いこ
 そが、悩ましい現実を乗り越えて生か
 される道だと説かれました。

劫濁：時代の流れそのものが濁り、
 何が真実か、分からない。
 見濁：自分こそが正しいと思ひ込み、
 自己と他者、自国と他国のつ
 ながりが分からず、争う。

煩惱濁：むさぼり、怒り、愚痴などの
 煩惱が盛んになる。

衆生濁：衆生の資質が低下する。
 命濁：衆生の命が短くなる。

こつしたお釈迦さまの教えを受けて、
 親鸞聖人は「浄土和讃」において、次の
 ように詠まれました。

すなわち、「五濁悪時、悪世界の衆生
 の救いのためには、自力修業でなく、
 阿彌陀如来の名号、すなわちお念仏こ
 そが本当の救いになると十方世界の数
 限りなき諸仏方がお念仏申すよう、お
 勧め下さっている」と言われます。

十方無量の諸仏とは、私たちに先立
 ってお浄土の仏さまと成られた我がご
 先祖さま方です。ご先祖さま方お浄
 土から「見てござる 聞いてござる 知
 つてござる」からこそ、せつかく頂いた
 この我々の命を無駄に過さず、「この
 命、頂いてよかった」と「生まれ甲斐
 を発見される人生でありたいですね。



善正寺
ホームページ



住職と坊守の
つれづれ日記

☆行事ご案内☆

6月21日(日)午前8時半(原則第3日曜日朝8時半)

令和8年度:新行事長・館靖夫様、会計・本田栄様

第5回『歌広場』ギター、マンドリン、歌の三人組

6月25日(木)後1時皆で楽しく歌いましょう!

三重組仏教講習会 講師 正親一宣師(津)

6月14日後浄蓮寺(大) 15日前明林寺・後法泉寺

テレホン法話TEL059・354・1454、若院5/11~

坊守5/18一週間毎に交代、連続善正寺が担当

善正寺ホームページQRコード検索、過去寺報掲載

毎日更新ブログ『住職と坊守のつれづれ日記』好評

最近一日訪問者急増5百人超! 総訪問者数53万人

新納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方ご相談を

新法縁廟境内に倶会一処の共同墓、記名碑有

法事場所法事場所でお困りの方ご相談を本堂使用可

4・18三全仏婦『初参式』20名の子供、過去最高!



地元以外、愛知、大阪、津、桑名、川越からも 仏様も大喜び



住職より冊子、数珠、菓子等記念品授与
賑やかな声が本堂に響き仏様も大喜び

『初参式』20名の子供『小さき吾子に』の歌を斉唱

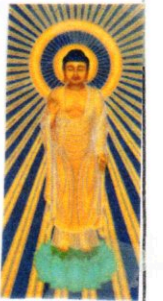
坊守スケッチ

逆境を乗り越える術

住職の大怪我から早4か月、おかげさまで順調に回復しました。しかし右鎖骨に二個のボルトとプレートは入ったままで、これを残すか除去するかは今後の検討課題です。80歳の割にしては早く回復した要因は、「一日も早く僧侶復帰して住職の務めを果たしたい」という強い願望でした。入院は3泊4日でしたが、約3か月に渡る一日置きのリハビリ通院で、元の生活に8割方復帰できるようになりました。今後は日々慎重に過ごしたいと思います。

ところで住職が大怪我をした当初、私はお先真つ暗で絶望感に襲われました。すぐさま介護ベッドやケアマネさんを頼み、住職の介護に専念しました。主治医やリハビリ師さんの適切な診断と施術のお蔭で、日を追う毎に回復し、自宅でも反復練習をしました。しかしリハビリ通院も続くと次第に疲れが溜まります。そこで私は上手にストレスを発散する方法を考えました。

その一つが枕元に『優しく聞ける日本の名作』の力セットを聞きながら眠りに就くことでした。有名俳優が朗読して、明治以降の日本の文学作品200冊以上を耳から味わえます。まるで



幼子が母親に絵本を読んでもらいながら眠りに就く光景と似ています。視力の衰えた高齢者には睡眠導入剤です。

更にもう一つの楽しみは、リハビリ通院の帰りに、住職とスーパーへ立ち寄って買い物をして、カートを押して店内を歩き回ることです。住職の歩行訓練にもなり脳の刺激にもなります。

また足は助かったので、早い段階で垂坂山散歩を再開しました。散歩仲間と一緒に歩いて下さったことが、回復に大いに拍車を掛けて下さいました。

こうして突然の逆境に出会っても、ささやかな楽しみを見出し、善き人々との出会いが、住職の回復に大きく貢献したことに厚くお礼申し上げます。

お知らせ

☆6月25日(木)午後1時より第5回トライアングル『歌広場』開催。皆様と一緒に懐かしの歌を歌いましょう。お誘い合わせてご来場下さい。



若坊守のノット日記No.137

長女の小学校区にあった子ども会は年々減り、今では二町が残るのみです。そんな状況を危惧したとある方から声がかかり、「わむわむ大谷台」というボランティア団体が結成されました。

そんな「わむわむ」の初イベント、「大谷台の駄菓子屋さん」が三月にありました。ある日曜日、小学校会議室ではお買い物疑似体験ができる駄菓子屋さんが開店。その奥の和室は「のんびり堂」と名付けたフリースペースで、子ども達がお菓子を食べたりお喋りをして過ごしました。一五人ほどの子ども達が参加してくれました。

この団体はほぼ小学校の保護者で構成されていますが、ある地区の自治会長さん、社会協議会・連合自治会の方のお手伝いもあります。寄付金を下さる方もいて地区の垣根を越え応援されていることを感じます。

「わむわむ」は「warm」(温かい)から名付けられ、転じて「和夢...みんなが和やかに集まれるという夢」ということで決定しました。運営方法や広報のやり方も一から仲間と話し合い、頼りになるリーダーのもと、今後も子ども達のための楽しい時間と空間を作っていきたいと思えます。



俳壇 & 柳壇

数独や脳かきまわす春風 釋妙水
春休みローカル線はリュックの子
寒気来た背中にもいつも四月かな 釋楽邦
雨粒を乗せて芍薬花こぼる 釋楽邦
公園の子ら生き生きと若葉風
耳馴れぬ言葉飛び交う春の市
緑と朱市松模様「の稻と麦 釋妙梅
潮干狩りバケツに一杯腰伸ばす
ひと粒の小石恨めし浅蜷つゆ
春筍や畑の中に顔を出す 釋妙鈴
ナイトショー 朧城下の人力車
春光や御土居の裾に川流る
足湯場で一服に和む風さやか 釋香誼
ネモフィラの布団に包まれうたた寝す
瓶底の軟膏浚ひ春來たり 釋秀龍
新緑や倉庫の奥の審判旗
春の風ほうじ茶ラテの湯気を撫づ
遠足の足取り軽し麦の秋 釋清風
短夜や失敗続きの夢を見る
万緑や空気いっぱい欲しいまま
.....
仕事した跡を残さぬシミ抜き屋
団体に紛れてガイド盗聴す
(い藤をか志)

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」390号をお届けします。◇最近の嫌なニュースばかりと友人のうめき。イラン戦争、子供殺し、家族の事件多発し、嘆かわしく思うのは皆さんも同様でしょう。◇だが、大怪我しても命拾いと思えば、日々いとおしく、生かされて生きる身を喜びたいとお念仏申す次第。唯念仏、合掌

風薫る若葉の季節になりました。任職の大怪我は予期せぬ出来事でしたが、皆様ののお蔭で乗り越えることができました。任職は六十歳、人生80年は生まれて三万日目に当ります。27歳が一万日目、54歳が二万日目です。あなたは今、何万日目を生きていますか。生きられる時間は限定的ですが、自分は残り何日を生きたられるかは誰にも予測できません。誰しも今日が一番若い日、後悔しないように一日一日を大切に生きたいものです。ところで最近家族間の殺人事件が多数発生しています。親が子を殺し、子が老親を夫が妻を殺す事件等です。昔は「子は宝、親が一番守りたいもの」という考えが当然でした。しかし現在は自分の都合で家族さえ邪魔になると殺します。家族に注ぐ愛情が失せた反面ベットの愛情を注ぐ奇妙な時代になりました。芥川龍之助の「杜子春」には死んだ両親が地獄で瘦せた馬に変えられて鬼に鞭打たれる姿を見ます。杜子春は耐えられず「お母さん」と叫びました。その瞬間杜子春は仙人には成れませんでしたが。しかし人間らしく日々の暮らしの中で親子の愛情を感じ、穏やかな人生を送ることが最高の幸せだと悟りました。私達もお力不足で買える幸せではなく、今日も百家族が集い共に暮らせることに感謝できる心を持ちたいものです。6月は25日(木)午後一時より第五回トライアングルの歌広場を開催します。皆さんご一緒に懐しの歌を歌いましょう。お誘い合わせてご参加下さいませ。合掌

令和8年6月

善正寺坊守拝